

第八回台日国際ロータリー親善大会親睦活動

冬山河生態緑舟+光耀扶輪館(ライトアップロータリー館)+伝統芸術センタ

宜蘭国家晚餐会メニューなし料理日帰り

期日: 2023年10月19日(木) *参加申込みについては、大会登録の皆様は9月1日までにご案内します。

費用 JPY10,000 円/1名 *参加費は、当日現地にてお支払下さい。

詳細日程

<p>09:00</p>	<p>マリオットホテル出発</p>
<p>10:30-12:00</p> 	<p>冬山河生態緑舟 + 冬山河散策</p> <p>冬山河森林公園は、宜蘭県東山鎮9号線、冬山河合流点の陸橋の隣に位置し、面積約16ヘクタールの広大な公園エリアです。東岸は自生植生が残り、渡り鳥の生息地として最適で、岸边には冬山河自転車道が整備されており、サイクリングや散歩に最適です。冬山河森林公園は、冬山河の中流と上流に位置しているため、冬山河の斜面を利用して改修と緑化を行い、森林をテーマとし、冬山河と一体化しています。自然森林公園を形成し、植樹を通じて環境土地の保全を図る。冬山河親水公園は水と土に近く、人間の心と感覚の美しさにあふれたパブリックアートであり、国際ボートレース、ドラゴンボートレース、児童演劇芸術祭、水上競技など、国際的に有名な大規模イベントが数多く開催されます。夏に開催される遊園地など冬山河親水公園では波の光と踊る影が舞う国際児童遊びフェスティバルが開催され、夏休みにも多くの方が遊びに来ます。暑い夏には、そよ風が鳴き鳥を吹き飛ばしながら、澄んだ浅い緑の波のプールでのんびり泳ぎます。さえずる緑の木々が木陰に満ち、川遊びの涼しさを吹き込み、野生のショウガの花と金色の鳥の鶴バナナが咲くのを楽しみます川岸にある東山河親水公園は美しい絵になります。</p>
<p>12:30-13:30</p> 	<p>昼食: 奇麗灣珍奶文化館(タピオカ文化館)</p> <p>PRIP GARY 黄から特色タピオカミルクティー招待+ 台式ハンバーガー</p> <p>次々と世界中に転がる真珠、私たちはそれを「タピオカミルクティー」と呼び、CNNは世界で18番目の飲み物にランクしました。宜蘭にある奇麗灣文化センターは、宜蘭の新しい人気観光スポットとなっており、世界中の宝物愛好家にとって必見の観光スポットです。美しい台湾の味を継承するために、文化的な軽食、メインの台湾風ハンバーガー、スナックの塩味チキン唐揚げ、タピオカミルクティー、その他の台湾スナックを独占的に発売しました。レジャーフード&グルメカルチャーセンターを主軸に、流線型の葉形と葉柄を導入し、葉の3分の1の法則で面白さ、楽しさ、美味しい料理を表現! 地元の食材を使った創作料理を強調し、興味深いフォントと英語のコロケーション(伝統的および革新的)を使用し、省エネ、炭素削減、緑化のコンセプトを組み合わせたこの観光工場の形態と生産が、観光工場の発展に貢献できることを期待しています。地球を大切にし、消費者に感動と感動を与えたい。</p>

14:00-15:00



光耀扶輪館(ライトアップロータリー館)

ライトアップロータリー館は、奇麗珍文化館の創設者である PP Coffee です。彼は宜蘭の蘇澳にある博物館で展示しました。私たちの最も尊敬され、賞賛され、人気のある PRIP ゲーリーは、2014-15 年度に R 会長だったときに 100 個以上国家を訪問しました。その飛行距離は地球を 4 周するのに十分であり、世界中のロータリーの人々と国家元首、副元首、または首相に受け入れられ、ロータリーの人々の愛は彼に稀で貴重なものを与えました。各国からの贈り物を展示し、ガイド解説もあり、どの展示品にも素晴らしい物語が詰まっています。

「PRIP は台湾の華人として初めて RI 会長を務めた。これは台湾の光だ。台湾を世界に見てもらい、台湾と世界に奉仕させ、より多くの外国の友人に台湾を知ってもらいたい。これは国家外交の成功だ」「特に世界大会では、会場には中華民国の国旗がはためき、中華民国国歌が演奏されました。同時に中国語が国際ロータリーの公用語となりました。何が感動したのか」私たちにとってさらに重要だったのは、「這是咱的扶輪社」という歌を世界に宣伝し、世界中に広めたことです。

15:30-17:00



国立伝統芸術センター

【国立伝統芸術センター】で伝統コレクション、北管文物、伝統芸術の真髄を鑑賞、ガラス工芸、三峡藍染、廣興手漉き紙、絵付けなどの DIY 体験民芸地区を見学し、伝統芸術のレトロをゆっくりと旅します。

伝統芸術センターの建築は、簡学義さん、陳森藤さん、蔡元良さん、黄声遠さんなどの多くの建築家と協力して行われ、台湾の伝統建築が非常に美しく表現されており、「2001 年台湾建築優秀賞」も受賞しています。国立伝統芸術センター公園、演劇館、民俗芸術館、図書館、手工芸品訓練センター、民俗地区、宿泊センターから文昌寺、舞台、黄舉人の家まで、すべて非常に興味深く、注意深く見る価値があります。園区内の動的な展示は都市の街路集落エリアに基づいており、水辺の野外ステージと田園風景のエリアは主に芸術パフォーマンスに焦点を当てており、一方、静的な展示は伝統的な美術品や工芸品に焦点を当てています。ホール」や音楽やオペラ関連の文化財を展示する「演劇博物館文化財ショールーム」があり、近隣には古代映画館、下駄館、人形館、陶芸館など数十の工芸品店もあり、ガラスホールなどもあり、観光客の立ち寄りスポットとしても人気です。

17:30-19:00



晩飯：宜蘭渡小月-国家晚餐会メニューなし料理

宜蘭のダウンタウンにある台湾料理専門店「渡小月」は、唯一セミコロンが付いていないお店で、1979 年は文昌路で始まり、現料理長の陳兆麟 (マスター麟) の父親が創業しました。父親の家族は皆、外で料理をするためのテーブルを用意する店主であり、麟マスターに引き継がれたのは 4 代目だ。渡小月は文昌路にあったときに地元の人々に好評を博し、その後現在の場所に移転しましたが、美しい空間、快適な食事環境、そして麟マスターは地元の食材を宣伝するために努力を惜しみませんでした。店は広く有名であり、他の場所からの観光客も時々特別に訪れます。

「蘭陽古来の味、研究・革新」をスローガンに掲げる台湾料理専門店「渡小月」は、宜蘭が海に近いため水揚げが多く、伝統

	<p>的な郷土料理に加え、海鮮料理も豊富です。そして、さまざまな季節の食材に応じて、すべての料理は古代の手法と統合されており、調理方法、盛り付け、自家製の陶器の道具など、常に革新と変化を続けており、訪れるたびに目と味覚を楽しませ、多くの熱心な人々を魅了しています。美食家のテーブルディナー: 宜蘭渡小月 - 全国晚餐会 メニューなし料理。</p> <p>訪れるたびに目と味覚を楽しませてくれます。グルメ達は「何度食べても飽きない！」と太鼓判を押しています。季節の食材や漁獲物が異なることと、すべての食材をその場で買って調理しなければならないというリンマスターのこだわりのため、「メニューがない」料理です。』もここでも大きな目玉となっています。</p>
20:00	<p>マリオットホテルに到着</p>